

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して



静岡県教育委員会
教育広報紙

Eジャーナルしずおか

平成30年(2018年)
5月7日
月曜日
第199号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

飲もう!学ぼう!みんなの静岡茶♪

静岡県では、学校で、静岡特産のお茶を飲み、お茶について学ぶことで、お茶の効能を知り、郷土への愛着を深め、将来的には、毎日の習慣として家庭でお茶を飲むことを目指しています。

「おいしい!もっと飲みたい!」「地元でもお茶を作っているのを初めて知った!」

家庭でお茶を飲み慣れていない子が、学校で飲むお茶をおいしいと感じたり、自分たちが住んでいる地域でお茶を栽培していることを初めて知って驚いたりしていました。

今回は、その様子をお知らせします。



学校での静岡茶体験

学校でのお茶を通じた食育を推進するため、教諭、栄養教諭、学校栄養職員等が日本茶アドバイザーの資格を取得し、専門性を生かしたさまざまな取り組みが行われました。

「家でも急須でお茶を入れてみたい!」(伊東市の小学校)

地元のお茶「ぐり茶」を使い、全員が茶器に触れられるようなお茶の入れ方体験を実施。「[ぐり茶]を初めて飲んだ」「急須で初めてお茶を入れた」「ペットボトルのお茶よりもおいしかった」との児童の感想。「[ぐり茶]は深蒸し茶ではないのですか?」との質問にも、蒸し方と形状の違いについて学んだ知識を生かして回答でき、子どもたちのお茶に対する理解を深めることができました。

「お茶の温度によって健康効果が違うことに気付いた!」(島田市の中学校)

中学1年生全学級を対象に、お茶の飲み比べ体験を実施。お湯の温度を50℃、70℃、90℃、抽出時間を10秒、30秒、60秒と変えて入れ、飲み比べをしました。お湯の温度や抽出時間によってお茶から溶け出す成分の違いを知り、自分の好みに合ったお茶を入れることができました。



こんな体験活動も! (三島市の小中学校)

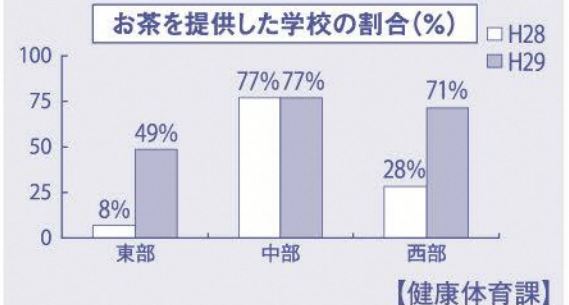
◆地元のお茶農家の協力を得て、茶畑や製茶工場を見学し、お茶の理解が深まりました。

◆茶道(裏千家)の先生を招き、中学生が茶道の作法を体験し、茶道を通じて思いやる心の大切さを学びました。



お茶を飲んでいる学校が増えている!

飲み方はさまざまで、給食の時間にやかんに入ったお茶を飲んだり、粉茶(スティック茶)を水筒のお湯に溶かして休み時間に飲んだりしています。平成29年度から取り組み始めた学校では、多くの学校がスティックに入った粉茶を取り入れていました。これは、給湯設備のない学校でも取り組みやすい方法です。スティックの包装にこだわり、地元のお茶をPRするデザインを入れて子どもたちの興味を持たせる工夫が見られました。



「ふじのくに茶の都ミュージアム」を活用してお茶を学ぼう!

お茶について知るには「ふじのくに茶の都ミュージアム」がお勧めです。児童生徒が実際に体験できるメニューが充実しており、お茶について楽しく学ぶことができますので、校外学習の場としてぜひご検討ください。

- 主な体験メニュー
- ・お茶の飲み比べ(15分程度)
 - ・オリジナルブレンドティー作り(30分程度)
 - ・抹茶挽き体験(30分程度)
 - ・お茶摘み体験(30分程度、期間限定) など

申・問 ふじのくに茶の都ミュージアム ☎0547(46)5588 〒428-0034 島田市金谷富士見町3053番地の2

【経済産業部
お茶振興課】



長寿命化改修工事が完了～老朽化した校舎を改修し、教育環境を改善～

★★★ 実施校6校: 裾野高校、清水東高校、藤枝東高校、島田商業高校、掛川西高校、新居高校 ★★★

県立高校の校舎は、築40年以上の校舎が全体の半数以上を占め、老朽化対策が喫緊の課題となっています。そのような中、県立高校6校の築50年以上の校舎について、平成27年度に設計、平成28～29年度に長寿命化改修工事を実施しました。

★長寿命化改修工事とは、コンクリートの構造躯体(くたい)の健全性を確認した上で、構造躯体は残し、老朽化した設備や配管、内外装の更新を行う工事です。築50年以上のコンクリート造の校舎をさらに30年延命し、80年使用することを想定しています。

普通教室

- *床や壁に県産木材を使用
- *照明のLED化
- *曲面黒板で見やすく

「明るく温かな空間に」



廊下

- *床に県産木材を使用
- *生徒用ロッカーを更新

「明るく開放的に」



トイレ

- *洋式化、乾式化を実施
- *便器、洗面器の数を増
- *人感センサー照明導入
- *自動水洗導入

「混雑解消、快適に」



構造躯体を生かして

屋上・外壁

- *屋上防水を実施
- *外壁補修・塗装を実施

「雨漏り解消、外観一新」



今後も、計画的に老朽化対策を実施していく予定です。

【財務課】

実践NOTE 397

生涯にわたって 文章から学び続ける 生徒の育成

三島北高等学校 教諭 野澤 哲由



授業中の筆者

が何ポイント取れていたかを生徒に認識させました。この要約文は学年で購入したファイルに保存させています。自分の成長を見る資料として、また小論文の参考資料として利用させるつもりです。

入試問題を有効に活用する

1日に全く本(電子書籍を含む)を読まないという大学生が53.1%。これは全国大学生協連結会が先頃発表した調査結果です。私たち高校教員はこの結果について真剣に考えなければいけません。文章との幸せな出会いを提供し、生涯にわたって文章を読む喜びを生徒たちが持ち続けてほしいと思います。

優れた素材を提供し、要約力を鍛える

現在担当している学年では、1年次に要約文の提出を毎週の課題にしました。新聞や新書などから選んだ課題文を週の初めに渡し、金曜日の授業で解答例を示し、採点の上提出させました。解答例では要約文の下に必要なポイントを列挙し、自分

あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ	た	ち	つ	て	と	
な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る
ろ	に	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	
を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	
を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	

「教科からの挑戦状」で生徒が作成した感想文

「教科からの挑戦状」で生徒が作成した感想文。文章を読むことは、自身を更新し続ける最良の手段です。読むこと、書くことを通じて生涯にわたって文章から学び続ける姿勢を養成したいと思っています。

大学入試問題は日本の大きな知的財産です。この財産を生徒が過去問演習として使うだけではもったいないと考え、2年次より単元が終るごとに入試問題を1題扱っています。現代文では、教科書と同じ作者、もしくは同じジャンルの問題、古典では教科書と同じ作品、またはその単元で習得した文法知識を使うものなどを選びました。問題演習の際は、複数の生徒に記述の解答を板書きさせ、クラス全員で検討します。どの解答がどういう理由で正しいのか、作者の見方、考え方について、各自の感想を200字以内で記述する問題でした。1年生から活発な意見が出て、改めて良問の持つ力の大きさを感じました。



記述解答を板書する生徒

教科からの挑戦状

本校には難関大学合格を目指す特進クラスが1年1クラス、2・3年に2クラスずつあります。この特進独自の試みとして、「教科からの挑戦状」と題して英数国の各教科が学期に1度、学年やクラスを超えて体育館で6人程度のグループを作って問題に取り組み機会があります。国語が扱った教材は良問として有名な



図書室のおすすめ本コーナー

おわりに

文章を読むことは、自身を更新し続ける最良の手段です。読むこと、書くことを通じて生涯にわたって文章から学び続ける姿勢を養成したいと思っています。

自分が読んだ本で価値があると思つたものは司書の方へお願いして図書室に入れてもらっています。その本が何十冊かたまったところで司書の方が私のおすすめ本コーナーを作ってくれました。幸いなことに生徒はここにある本をよく読んでくれて、2017年度貸し出し本第1位はこのコーナーの『困難な成熟』(内田樹・著)と『私とは何か』(平野啓一郎・著)の2冊でした。感想を話してくる生徒も多く、生徒と良いコミュニケーションがとれていると感じています。

実践NOTE 398

「自己有用感を高める」を キーワードとして小中の 連携を進める取り組み

袋井市立浅羽中学校 主幹教諭 佐野 大和



校内の中心授業を行う筆者

のいくつかを紹介したいと思います。

浅羽中学校区では、平成26年からの2年間、国立政策研究所の指定を受け、校区の4小学校と共に、「魅力ある学校づくり調査研究事業」に取り組みできました。児童生徒の「自己有用感を高める」ことを中軸として取り組んだ結果、不登校や問題行動の減少などの成果があり、この事業への確かな手応えを感じる事ができました。

指定を終えた後も、「魅力ある学校づくり」を基盤として、児童生徒の自己有用感を高めながら、これまで以上に小中の連携を進めていくためには、どんな取り組みができるか、校区の担当者が月に数回集まって検討し、校区で実践を重ねてきました。今回は、その取り組み



幼小中合同研修会の分散会

参加された先生からは「今日解決したい」と子どもから出てくる学習課題が良い」と「単元のゴールを見通した課題を設定したい」と言った感想があり、校区の先生方が授業づくりの視点でつながることができました。



水泳部員による水泳指導

聞かせを行いました。校区では何年も続いている活動で、生徒たちは「よい自分たちの番だ」と張り切って小学校に出向いていきました。6年生では中学校生活への質問タイムが設けられており、中学への不安感が軽減され、いわゆる中1ギャップの解消につながる取り組みとなりました。

子どもの交流でつなぐ 憧れの存在に①

中学生が出身小学校の水泳課外や陸上課外の練習に技術指導者として参加をしました。水泳では一緒にプールに入り、陸上のハードルでは足の抜き方を細かく指導したりと、部活動で身に付けた技術を惜しみなく伝え、まさに憧れの存在となっていました。教えたい小学生が良い結果を残したことを聞き、「やって良かった」と人の役に立ったという自己有用感を感じている中学生の姿がありました。

憧れの存在に②
中学1年生が出身小学校で絵本や紙芝居の読み

連携から保幼こ小中 一貫教育へ

このように浅羽中学校区では、教員も生徒もさまざまな交流活動を行い、連携を強めています。関わりを通して自己有用感を高める取り組みは、小・中・高の連携だけでなく、保幼と小、保幼と中へと拡がりをみせています。今後は、これまでの取り組みを大切にしながら保育園や幼稚園、こども園や小学校と連携して浅中校区カリキュラムづくりを進めていき、平成32年度から始まる施設分離型の小中一貫教育へとつなげていきたいと思っています。

健康福祉部こども未来課
054(221)3485



健康福祉部こども未来課
054(221)3485

「あいのうた短歌教室」開催校募集!
県では、家族や恋人への想いを、31文字で詠む「あいのうた」出会いから子育てまでの短歌コンテスト」を今年も開催します。コンテストの開催に併せて昨年度に引き続き、歌人の田中章義先生が各学

本短歌教室を受講した生徒からは、「短い時間で短歌が好きになった。また来てほしい!」「思ったことや感じたことを上手に表現できた。楽しいだろうな」と思い、葉を大切にしようと思いましたが、「あいのうた短歌教室」を開催します。

保護者が笑顔に、教員も笑顔に ～静岡県家庭教育支援員による「家庭教育講座」が大好評～ あなたの学校でも家庭教育支援員を活用し講座を開催しませんか？

「家庭教育支援員」とは？

静岡県家庭教育支援員養成研修会を受講し、家庭教育の知識とスキルを学んだ地域の人材、保護者の応援団です。

家庭教育支援員が行う「家庭教育講座」とは？



和気あいあいと情報交換する保護者

多くの保護者が集まる懇談会や保護者会等で開かれる「交流会型」の講座です。保護者が自由に話し合う「井戸端会議」のような話し合いの場です。

家庭教育支援員は、参加者が話しやすい雰囲気を作り、保護者の本音を引き出すファシリテーターです。保護者は、リラックスした雰囲気の中で自分の思いを話し、周りの方の話を聞きながら、自分なりの答えを見つけていきます。

教員にとってのメリットとは？

講座に関するほとんどの準備と当日の進行は家庭教育支援員が務めます。教員は、保護者のニーズや子どもたちの実態に合わせて話し合いのテーマを選び、お便り等で周知します。そのため、「講座の前にある参観授業の準備に専念できる」「保護者の率直な意見が聞ける」と、教員からも好評を得ています。

参加者及び教員の声

- ・小さな悩みを話し合ったり、いろいろな情報を聞けたりしてよかったです。
- ・子育てを振り返り、自分を見つめる時間になりました。
- ・年齢の若い教員や経験の少ない教員に代わり、家庭教育支援員が司会進行等してくれるので、保護者は自由に気楽に話ができて、教員の負担感が軽減されました。

あなたの学校でも家庭教育支援員による家庭教育講座を開催してみませんか？

家庭教育支援員や家庭教育講座の詳細については、各市町教育委員会までご連絡ください。

県教育委員会問い合わせ先 社会教育課 ☎054(221)3115

活用してください「交通安全教育事例集」

交通事故ゼロを目指して

近年、県内小学生の交通事故は減少傾向にあり、平成29年の死傷者数は1,122人と過去10年間で最も少なくなっています。しかし、平成28年には2人の児童が尊い命を失うなど、未だに重大事故が発生しています。

このような悲惨な交通事故が二度と起こらないよう交通事故ゼロを目指して、子どもたちが自らの命を守る力を付けることはもちろんのこと、教員をはじめとした大人のサポートも重要です。

実践的安全教育総合支援事業

静岡県教育委員会では文部科学省の委託事業である実践的安全教育総合支援事業を活用し、市町へ通学路安全対策アドバイザーを派遣して、通学路の危険箇所の検討や児童生徒に対する危険予測・回避能力を高める交通安全教育を実施してきました。

本事例集では平成27年度から29年度までの事業の実施報告を掲載し、取り組みの概要や成果と課題についてまとめています。

交通安全リーダー制度の有効な活用

交通安全リーダー制度は、昭和51年から続く本県独自の取り組みです。

本事例集では、この制度をより効果的に運用した実践事例が掲載されていますので、この制度を有効的に活用するのはどうしたらいいか悩んでいる先生の手助けとなるだけでなく、積極的に活用されている先生のさらなる教育の充実も期待できるものとなっています。

交通安全リーダー制度における実践発表を聞いた先生の声

- ・ありきたりでマンネリ化している中で、教師の取り組み方、考え方でこんなにも意義のあるものになるかと感心させられた。
- ・その場だけで終わらず、全体に広げていった取り組みは参考になった。

本事例集は健康体育課のホームページで公開しております。

(<http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-120/leadershiryou.html>)

【健康体育課】

実践的安全教育総合支援事業
～平成27・28・29年度事業実施報告～

交通安全リーダー制度を有効に活用した交通安全教育事例

静岡県教育委員会

高校生対象

障害のある方への『声かけサポーター』を養成しています

「声かけサポーター」とは？

県内外において、目の不自由な方をはじめとする障害のある方が、駅ホームから転落する事故が発生しています。障害福祉課では、これらの不幸な事故を未然に防止するため、平成29年度から、高校生や地域住民を対象に、駅ホームや路上等で障害者に対する声かけを行う際のコツやタイミングを習得した『声かけサポーター』を養成しています。

平成29年度には、計8回の講座のうち7回を、通学時など障害のある方を見掛ける機会が多い高校生を対象に実施し、福祉科やボランティア部のある県立高校を中心に7校にご協力いただき、205人の高校生の『声かけサポーター』を養成することができました。

養成講座の内容

養成講座では、視覚障害のある方に各種訓練を実施する歩行訓練士や、視覚障害当事者講師から、声のかけ方やお手伝いの方法を学び、アイマスクをつけた状態での歩行体験を行いました。参加した生徒たちは、講師の話に真剣に耳を傾けていました。

受講者の声

講座終了後には、「誘導の声があると安心できることが分かった。街中で困っている人がいたら、やさしく声をかけたい。」等の感想が寄せられました。今後、駅ホームや路上等において障害のある方を見かけた際には、『声かけサポーター』として、「何かお手伝いしましょうか?」と、積極的な声かけを期待しています。

本年度も、引き続き『声かけサポーター』の養成講座を実施します。内容について詳しく知りたい、あるいは実施したいとお考えの高校は、障害福祉課までご連絡ください。

問 健康福祉部障害福祉課 ☎054(221)2367



講師の話に熱心に耳を傾ける生徒たち (磐田北高校)



伊豆箱根鉄道の車両を使用し、お手伝いの方法を学びました(三島南高校)

「進路相談」と「体験入学」について ～特別支援学校高等部へ進学を希望する方へ～

特別支援学校高等部の「進路相談」及び「体験入学」を受けましょう!

特別支援学校の高等部は、高等学校と同じように入学に際して募集定員があります。募集定員は、各特別支援学校が実施する中学校や特別支援学校中学部の3年生を対象とした「進路相談」や「体験入学」の結果を踏まえ、県教育委員会が年ごとに決定しています。

「進路相談」や「体験入学」は、高等部の入学に係る募集定員に影響を与えるだけでなく、特別支援学校高等部での教育が自分自身に適しているかを考えるとともに、将来の希望や自分の持っている力などについて、見つめ直す大切な機会となります。**特別支援学校高等部への進学を希望する方は、「進路相談」及び「体験入学」を7月末までに必ず受けるようにしてください。**

「進路相談」や「体験入学」は、在籍する中学校や特別支援学校中学部を通して各特別支援学校に申し込んでください。

高等部進路相談及び体験入学を実施する県立特別支援学校

学校名	進路相談実施日	体験入学実施日
沼津視覚	随時	随時
静岡視覚	随時	随時
浜松視覚	普通科:6/20(水) 専攻科:随時	随時
沼津聴覚	6/12(火) 他随時	同左
御殿場	6/15(金),18(月),20(水),22(金)	同左
沼津	他校生:6/8(金),11(月),13(水),15(金),18(月) 本校生:7/4(水),6日(金)	同左
伊豆田分枝	6/14(木),18(月),19(火),21(木)	同左
愛鷹分枝	6/11(月),14(木),18(月),21(木)	同左
富士	6/1(金),8(金),11(月)~14(木),18(月) 希望者多数の場合は6/25(月),26(火)も実施	同左
富士宮分枝	6/11(月),13(水),14(木),18(月),20(水)	同左
清水	6/1(金),13(水),15(金),20(水),22(金)	同左
静岡北	5/29(火)~31(木),6/5(火)~7(木)	同左
南の丘分枝	5/25(金),28(月)~31(木)	同左
藤枝	他校生:6/18(月)~20(水) 本校生:7/3(火)~4(水)	同左
焼津分枝	6/25(月)~29(金)	同左
吉田	6/13(水)~15(金)	同左
掛川	6/4(月)~22(金)(土日を除く。)	5/23(水)
御前崎分枝	5/28(月)~6/22(金)(土日を除く。)	同左
袋井	6/1(金)~29(金)(土日を除く。)	同左
磐田見付分枝	5/28(月)~6/29(金)(土日及び6/1(金),4(月)を除く。)	同左
浜松	6/6(水)~6/29(金)(土日を除く。)	5/29(火),6/1(金),5(火),5/7(月)~7/31(火)(土日祝日を除く。)
城北分枝	5/21(月)~6/8(金)(土日を除く。)	同左
浜北	6/1(金),8(金)	同左
浜名	5/31(木)	同左
東部	6/13(水)(申込/切5/31(木))	同左
伊豆高原分枝	5/30(木),6/4(月),6(水)	同左
伊豆松崎分枝	6/8(金)	同左
中央	6/1(金),本校生:6/13(水),他校生:6/14(木)	本校生:6/13(水) 他校生:6/14(木)
西部	5/16(水)	同左
天竜	説明会:6/22(金)	随時

【特別支援教育課】

総合教育センター
みまろ Angle

センターは学び続ける教職員とこれからの学校を応援します!

学校教育が抱える課題が複雑・多様化する現在、私たちに求められるのは、最新の専門的知識や指導技術等を積極的に身に付けていこうとする姿勢です。本県では求める教職員像として「学び続ける教職員」が掲げられ、教育の担い手である教職員の資質能力の発揮・向上が必要であると示されています。総合教育センターでは、社会状況や教育環境の変化はもちろん、国や県の施策にも対応するべく、研修内容等のより一層の充実に努めました。研修の効果を3つ紹介します。

★自身のキャリアステージや課題に合ったセンター研修を選択することで、必要な資質能力を身に付けることができます。

新学習指導要領に対応した研修や、現場での実践につながる確かな理論を学べる研修を充実させ、教職員の自律的・主体的な学びを支援します。



★校内研修と往還するセンター研修により、現場におけるOJTの効果がより一層高まります。

教員一人一人が自己啓発につなげて力量を高められるような研修はもちろん、OJTの活性化を図ることができるようなセンター研修(Off-JT)を充実させます。



★各課等の研究の成果や本年度取り組んでいる研究の最新情報について、情報を得ることができます。

本年度、「主体的・対話的で深い学び」実現のためのサポートブックを発行しました。今後、授業力向上研修で学校代表の先生に配布し、使い方の説明も行います。



●研修や研究の詳細については、センターホームページや研修ガイドブックをご覧ください。本年度は、各研修と、教員等に求められる資質能力やキャリアステージとの関係が分かるようガイドブック等の工夫・改善を図りました。

問 生涯学習企画課企画班 ☎0537(24)9706
HP <http://www.center.shizuoka-c.ed.jp>
静岡県総合教育センター 検索

～キャリア教育・国際理解教育の推進、異業種・異校種交流に～ 「日中青年代表交流」の参加者募集!!

県教育委員会では、中国浙江省と青年(20代～40代)の相互交流事業を行っています。現在、本年度の参加者を募集しています。

新シルクロード経済圏構想「一带一路」関連企業やアリババ集団といった今話題の中国企業、最先端の設備を誇る中国の学校を視察し、現地の方々と交流します。また、中国人青年たちとのホームステイやペア活動の交流を行うなど、広大な中国を舞台に個人では経験できない充実したプログラムを満喫します!さらに、県内のさまざまな業種の参加者との交流ができることも、当事業の魅力です!

教職員としての今後のキャリアに必ず生かせる内容です。皆さまの応募をお待ちしています。



本交流に参加した県所管公立学校教員は、中堅教諭等資質向上研修の「社会体験研修」を実施したものとみなされます。

- 概要 2回の交流と、4回のセミナーを予定
《交流》両県省の青年が相互に訪問し、ホームステイや企業・学校等への視察研修を行います。
①浙江省交流(中国浙江省、上海市を訪問)
平成30年8月8日(水)～15日(水)
②静岡県交流(県内で浙江省の青年を受入)10～11月を予定
《セミナー》中国事情や中国語を学ぶ講座等を行います。
・平成30年6月30日(第1回)～12月の土曜日、計4回
 - 対象 中国との交流に関心のある、県内在住または通勤・通学している20代から40代までの方
 - 定員 30人
 - 費用 15万円(教職員の方は、上限7万5千円の助成を受けられます)
 - 申込締切 平成30年6月6日(水)
- 申・問 社会教育課 ☎054(221)3305 「日中青年代表交流」で検索

将来海事系学校へ進学を希望する生徒必見!! 『第62回全日本カッター競技大会in三ヶ日青年の家』



全国からカッター競技の強豪校が三ヶ日に集結します。浜名湖に気合いの入った掛け声が響きます。ぜひ、応援に来てください!

- 開催日 平成30年5月26日(土) 9:00～16:00 雨天決行
 - 会場 静岡県立三ヶ日青年の家(浜松市北区三ヶ日町都筑523-1) 南面海域
 - 主催 全日本カッター連盟
 - 協力 静岡県立三ヶ日青年の家
 - 参加校 神戸大学 東海大学 長崎大学 日本大学 東京海洋大学工学部 東京海洋大学科学部 静岡県立焼津水産高等学校 海上保安大学校 愛知県立三谷水産高等学校 京都府立海洋高等学校 防衛大学校 水産大学校 九州看護福祉大学 国立館山海上技術学校
 - 観覧 無料
 - 駐車場 南平無料駐車場(三ヶ日青年の家から東に300m付近)
- 問 静岡県立三ヶ日青年の家 ☎053(526)7156

水産技術研究所展示室 平成30年5月8日(火)リニューアルオープン! ～授業や校外学習にご利用ください～

静岡県水産技術研究所(焼津市小川)は、新焼津漁港内(焼津市鯛ヶ島)に移転しました。これに伴い、展示室をリニューアルしたので紹介します。

この展示室は、静岡県の水産の現状や水産技術研究所の研究成果、水産を取り巻く静岡の豊かな自然などを紹介する施設です。最新の大型ジオラマプロジェクションマッピングや、大小の水槽による魚の展示、おさかなクイズなど、見て体験して学べる展示が数多くあり、小・中学生の皆さんの学習に役立つだけでなく、小さなお子さんでも楽しめる施設となっています。ぜひご来場ください。



水産技術研究所展示室

施設の
基本情報

- 休館日 土、日、祝日及び年末年始(12月29日～1月3日)
- 開館時間 午前9時～午後4時30分 ■観覧料 無料
※5月8日は、午後1時から一般観覧できます。

申・問 水産技術研究所 ☎054(627)1815 〒425-0032 焼津市鯛ヶ島136-24

広告

教育現場での新聞活用法を 学びませんか? 学校教職員対象の研修に講師を派遣します

学習指導要領の改定、大学入学共通テストの実施に向けて、学校現場で新聞の活用が求められています。しかしながら多くの教職員の方から「教育現場での活用法がわからない」というお悩みの声が寄せられています。

静岡新聞社では、学校の教職員向けの研修に講師を派遣して、教育現場に新聞を取り入れるノウハウをご案内しています。実践例を織り交ぜた充実した内容で、学校教育を強力にサポートします。

講師
派遣料

無料

お申し込み・お問い合わせは
静岡新聞社読者プロモーション局 読者部 Tel.054-284-8984 (月曜～金曜 9時～17時 ※土・日・祝日は除く)

★資料として当日の受講者分の新聞(1部130円)を購入していただきます。